

平成 29年 10月13日

出雲市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 勝部順子



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成29年 10月24日	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	岡山コンベンションセン ター 2階レセプション ホール 岡 山市北区駅元町14-1 TEL(086)214-10 00	地方公会計の行方 ～固定資産台帳の整備、財務書類の公表の先にあるもの
3. 参加者	福島孝雄 計 1 名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



平成 29年 10月25日

出雲市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 勝部順子



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成29年 10月24日	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	岡山コンベンションセン ター 2階レセプション ホール 岡 山市北区駅元町14-1 TEL(086)214-10 00	地方公会計の行方 ～固定資産台帳の整備、財務書類の公表の先にあるもの
3. 参加者	福島孝雄 計 1 名	
4. 添付書類	行程表（別紙） 	

(所 感)

総務省より地方公会計制度の見直しとして、平成27年度～平成29年度までに統一的な基準による財務書類の作成・公表が義務付けられました。

今までの単式簿記（現金主義）を補完するものとして、複式簿記（発生主義）方式を取り入れ、財政をより「見える化」し、財政の健全化を図るものです。

今回の研修では、「地方議会における公会計情報活用の新たな針路」と題し、公認会計士の中川美雪氏より講義を受けました。

統一的な基準による、①公会計情報が公表された場合の影響、②公表される公会計情報③公会計情報からわかること、④財務書類及び、固定資産台帳の活用、⑤今後の方向性について説明がありました。

① としては、固定資産の状況がガラス張りになり、他市との比較が可能となります。そして財務書類の公表により、市としての信頼性、比較可能性が向上します。

② としては、固定資産台帳・財務書類（4表形式・3表形式）・注記、付属明細書

③ としては、貸借対照表により、固定資産の状況、地方債の借入状況、世代間負担の公平性等が把握できます。行政コスト計算書・純資産変動計算書により、納税者が負担すべきコスト、団体や事業等の業績が把握できます。付属明細書からは、生活インフラ・国土保全、教育などの行政目的別の有形固定資産の保有状況がわかります。

④ としては、人口減少が進展する中、限られた財源を「賢く使うこと」につなげる財政指標の他団体比較により、課題が見つかるため、将来の目標設定が明確になる。

⑤ として持続可能な財政のために明確な財務書類の作成が急がれます。

出雲市としても、財政健全化のために「統一的な基準による財務書類」の作成に全力を挙げて頂きたいと感じました。

平成 29年 10月10日

出雲市議会議長 様

会 派 名 公明党

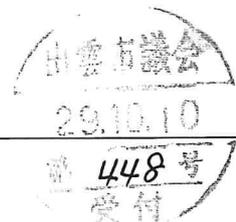
代表者氏名 勝部順子



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成29年 10月25日 ~ 平成29年10月27日 (2日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	議員力アップ講座 (地方議員研究会研修) 東京都 中央区京橋 1-7-1「TKP 東京駅八 重洲カンファレンス センター」	「議会や委員会での質疑やりとり向上研修」 「質問その後」本来の議員活動のために質問を 有効に使う」 「人口減少社会の自治体の今後の課題と切り 口」
3. 参加者	勝部順子・福島孝雄・錦織 稔 計 3 名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



行政視察報告書

出雲市議会議長様

平成29年11月6日

会派名 公明党

代表 勝部順子

報告者 錦織 稔

視察名	出雲市議会公明党会派	
視察期間	平成29年10月25日(水)～27日(金)	
視察先 及び 調査事項	地方議員研究会 研修①	議会や委員会での質疑やりとり向上研修
	地方議員研究会 研修②	本来の議員活動のために質問を有効に使う
	地方議員研究会 研修③	人口減少社会の自治体の今後の課題と切り口
参加者	勝部順子(代表)、福島孝雄(副代表)、錦織稔 計 3 名	



研修内容

1 議会や委員会での質疑やりとり向上研修

- ・質問とは「疑い」「分からない」ではなく、「照会」「調査」に近い。市町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。したがって、ジェネラリストのプロを目指すことが大事である。
- ・所信をただすことによって、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明らかにさせ、結果として、政策に変更、是正、新規の政策を採用させることにある。
- ・質問の論点が整理されていることが重要で、背景、仮設、検証、結論を文字数でなく、整然とまとめて書く。
- ・年間原稿作成シート、答弁マトリックスシートを活用し、体系的に質問を考える。

2 本来の議員活動のために質問を有効に使う

- ・決算委員会は決算審査、執行済みとして軽視されがちだが、住民に代わって行政評価・経済効果を測定しなければならない。1次的意義は予算効果・行政効果を客観的に評価すること。2次的意義は会計処理へ事前統制・事前監視をすること。3次的意義は住民に財政実態の理解と納得を得ることにある。
- ・首長との関係をもう一度見直す。総与党化が機能を疲弊させてしまう。ポピュリズムには1型と2型があり、両方を使い分けることが大事である。
- ・年間活動戦略シートを活用し、戦略的に質問を考える。質問が役所においてどのように扱われるか知る必要がある。
- ・市政報告会を定期的を開催することによって、残像を残す。少人数でも良いので数多くこなすことが大事である。議会だよりも年に1回は最低発行する。

3 人口減少社会の自治体の今後の課題と切り口

- ・職員の削減に賛成する職員はいない。なぜなら仕事量が増えることは目に見えているからである。必要なのは、減量化、効率化、簡素化など具体的な手法である。
- ・政策を減らすか、手法の選択か。政策を全部実行するために策を練る。財政は、政策決定ではなく、本来の仕事をする事である。
- ・行政の受付業務はしっかりなされているのかは、接客指導の徹底が肝心である。5S、処理日数が標準化されているのか。動きに無駄はないか。相談・依頼等の受付票が整備され

ているか。見直しを検討することが大事である。

- ・仕事のやり方を変えずに、人を減らす、給料を減らすなどというやり方は、民間でもほとんど成功した例はない。
- ・単式会計から複式会計へ、意識だけでも醸成させる。予算主義から決算主義へ、すべての項目の成果をチェックすべきである。